

## 指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

## 1 基本理念及び基本方針

基本理念	市民等の環境活動の成果をまちづくりに活かす拠点とするとともに、自ら進んで環境行動を実践できる市民等を育成する拠点として設置し、各主体（市民、大学、事業者及び行政）とのパートナーシップにより、「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」及び持続可能な開発目標（SDGs）の環境に関わる目標の実現を目指します。
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境問題の共有、環境に対する人の責任と役割の理解を通じ、環境に配慮した考え方を育み、地域、学校、家庭等あらゆる場面で環境行動を実践する環境リーダーを育成します。</li> <li>2 各主体の自主的かつ主体的な環境活動に対し、人材、情報、事業、運営など総合的な支援を行います。</li> <li>3 幅広い環境分野における情報の収集・発信を行います。</li> </ol>

## 2 事業方針

（１）環境学習の推進	（２）環境活動の支援	（３）環境情報の提供
環境に対する身近な関心事から専門的な分野までをテーマにした学習機会の提供	市民等の自主的かつ主体的な環境活動に対する総合的な支援	図書、資料等の整備や SNS を活用した情報発信など、ニーズに合わせた環境情報の提供
<p>（具体的事業）</p> <p>（１）環境学習の推進</p> <p>環境の保全に係る普及啓発に関すること。</p> <p>基本理念、基本方針及び環境関係法令等の趣旨を踏まえつつ、下記（ア）から（エ）の４つのテーマを柱に、環境配慮行動を促す事業をバランスよく企画、運営すること。</p> <p>さがみはら温暖化対策協議会をはじめ、市民、地域、事業者、教育機関等との連携協力による事業を実施すること。</p> <p>参加者に対し、一方的に情報を提供する座学・講義型事業は、参加者が受動的な姿勢になりがちで学習効果に限界があるため、講師・参加者間や参加者同士のコミュニケーションを重視した体験・参加型事業の実施に重点を置くこと</p> <p>体験・参加型事業の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークなど、実際に自然を体験する形式の環境学習を提供する事業</li> <li>・屋内で実施するが、環境に関わる素材（津久井産材・リサイクル材・VR・AR 教材など）を対象に、五感を用いた体験を通じて環境学習を提供する事業</li> <li>・講師がファシリテーターとなり、環境に関わるテーマについて講師・参加者間や参加者同士のコミュニケーションを通じて環境配慮行動を促す「気づき」を体験する機会を提供する事業</li> </ul> <p>（ア）地球温暖化対策（脱炭素社会が実現しているまち・気候変動に適応しているまち）</p> <p>省エネの推進、気候変動への適応策、再生可能エネルギーの活用等に係る事業を実施すること。</p> <p>（イ）資源循環の推進（ともにつくる資源循環都市）</p> <p>4 R 等に関する事業を実施すること。</p> <p>（ウ）水とみどり・生物多様性の保全・活用（水源を育み恵み豊かな自然を次世代へ）</p> <p>本市の特徴である、中山間地域を中心とした、豊かな自然及び水辺環境を活用し、現地で行う環境学習などの事業を行うこと。</p> <p>その他、生物多様性、緑化推進、緑の保全等に係る事業を実施すること。</p> <p>（エ）環境リスクの管理（安全で快適な生活環境の実現）</p> <p>大気や水質等に係る事業を実施すること。</p>		

## ( 2 ) 環境活動の支援

環境の保全に係る団体の交流及び連携の促進に関すること。

市民、地域、事業者、教育機関等との協働及び交流の機会の提供。各主体から寄せられる環境学習相談や環境活動相談に対するアドバイス業務の実施。

自然環境観察員制度に関すること。

身近な自然に目を向け自然環境に対する関心を高め、環境保全意識の高揚を図るとともに、大切な自然を監視・保全していくための基礎資料を継続的に集積する市民ボランティア制度の運営

事業協力者登録制度「エコネットの輪」事業

市民活動団体、事業者、大学、行政が有する環境学習プログラムや環境情報等を収集した中で、プログラム集の作成及びプログラム利用希望者とプログラム提供者との仲介業務の実施

- ・プログラム集を年に 1 回以上作成し、市内公共施設及び小学校に配布すること。

- ・プログラム追加時は、適宜、改訂版の作成を行うこと。

専門相談・アドバイス事業

市民等から寄せられる環境学習相談や環境活動相談に対するアドバイス業務の実施

さがみはら環境まつり

環境保全意識の向上を図ることを目的として開催する「さがみはら環境まつり」の事務局運営

こどもエコクラブ事業

環境省が応援し、公益財団法人日本環境協会が全国事務局を務める、幼児から高校生であれば誰でも参加できる環境活動クラブの本市における事務局運営と、市内のクラブ間の交流を図る事業の実施。

その他

市民、団体等の自主的な環境保全活動を支援し、またこれらの活動をけん引する人材の育成に取り組むこと。

## ( 3 ) 環境情報の提供

環境の保全に係る情報の収集、提供及び情報発信に関すること。

市民、事業者等の環境の保全に関する理解を深めるための情報の収集、提供及び情報発信の実施。

環境関連図書コーナー事業

図書や資料などを環境情報コーナーへ配架及び管理し、来館者が自由に閲覧できること。

環境情報発信事業

ホームページや SNS、動画サイト等を活用した様々な環境情報の提供を定期的に行い、環境保全に関する話題やセンターの活動を広く紹介すること。

エコギャラリーの運営事業

市民活動団体、事業者、大学等の環境活動の成果や情報などを展示するエコギャラリーの運営業務

機関紙の作成事業

小学生等を対象とした、環境情報センター NEWS の作成業務( 環境学習事業への参加の促進が図られる内容を含むもの )

## ( 4 ) その他

高校生、大学生ボランティア及びインターンシップ等の受入れ業務

## 3 目標とする事業開催数

具体的事業		目標とする回数	備考
(1)	環境学習の推進	30回以上/年	うち25回以上を体験・参加型の事業とすること
(2)	環境活動の支援		
	自然環境観察員制度の運営事業	2回以上/年	
	かんきょう学習セミナーの開催		
	「エコネットの輪」紹介・仲介件数	20回以上/年	
	さがみはら環境まつり	1回以上/年	事務局事務は通年
(3)	こどもエコクラブ事業 市内交流会の開催	2回以上/年	
	環境情報の提供		
	環境情報発信事業	60回以上/年	SNSの発信を行うこと。 (うち12回以上の動画配信を行うこと)
	エコギャラリーの運営事業	6回以上/年	
(4)	機関紙の作成事業	4回以上/年	・市内全小学3年生以上に配布をすること
	その他		
	高校生、大学生ボランティア及び インターンシップ等の受入れ業務	1人以上/年	

## 4 成果指標

施設の設置目的の達成度や施策の達成度について客観的に評価するため、次のとおり成果指標を設定しています。

## ア 指標について

指標名と単位	環境学習事業開催に伴う参加人数(単位:人)
指標式と指標の説明	平成30年度事業参加者数(2,644人)を基準値とし、毎年50人ずつ事業参加者数を増やすことを目標値として設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度 = 実績値 / 目標値

## イ 指標の実績と今後の目標数値

	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
実績					
目標	2,850人	2,900人	2,950人	3,000人	3,050人
達成度					

## 5 施設の管理について

良好な環境衛生、美観の維持に心がけ、安全かつ快適な空間を保つため、衛生研究所と協力して施設の管理を行ってください。詳細は別添資料 20 の「衛生研究所の属する庁舎及び環境情報センターにおける管理規程」を順守してください。